令和５年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　効果検証

（単位：円）

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（※実績ベース） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施期間	総事業費			成果目標	効果・検証 ①事業実施による効果 ②評価検証
					補助対象事業費	交付金充当経費		
1	畜産飼料価格高騰対策事業	①コロナ禍における物価高騰対応事業として、畜産飼料価格の高騰に直面する畜産経営者に対し、購入経費相当分の一部を支援し、畜産経営の安定化を目指した。 ②購入飼料費について、直近３か月分の配合飼料の上昇価格を参考に、上昇分の１割程度を基準金額として１頭あたりの補助単価を算出し、生産者に支援を行った。 ③乳用牛2,535頭・4経営体、肉用牛(繁殖)291頭・10経営体、肉用牛(肥育)1,621頭・14経営体、成豚(繁殖雌)750頭・2経営体 ④市内畜産事業者	R5.6.30～R6.1.19	23,835,000	23,835,000	23,835,000	生産者経営体数の維持（乳用牛4経営体、肉用牛繁殖14経営体、肉用牛肥育15経営体、養豚2経営体）	① コロナ禍における物価高騰に伴い、非常に厳しい経営を強いられている畜産農家へ支援を実施したことで、経営安定化と経営継続意欲向上の効果が見られた。 ②令和5年６月末　畜産経営体数 （乳用牛4経営体、肉用牛繁殖14経営体、肉用牛肥育15経営体、養豚2経営体） 　令和6年1月末　畜産農家戸数 （乳用牛4経営体、肉用牛繁殖14経営体、肉用牛肥育15経営体、養豚2経営体） 　離農率0％